

看護師として 踏み出す力を支えます

私たちは、いつも笑顔で
真心をこめた看護を実践するとともに、
一人ひとりが描いた看護師像や
キャリアビジョンを実現できるように、
安心して長く働き続けられる環境を
整えています。

看護師人生の ロードマップを描こう!

個人の能力を伸ばす教育方法と、あなたの夢や目標、
個性に応じたキャリアデザインが描ける環境が用意されています。



病院理念

地域の中核病院として、良質な医療を提供するとともに、
住民一人ひとりの生活を尊重し、
安全で安心できる地域社会の実現に貢献します。

看護部理念

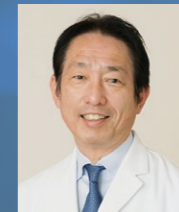
私たちは、その人らしさを大切に質の高い看護を
提供し、住民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して
暮らせるよう支援します。

看護部基本方針

1. 私たちは、人間の尊厳・権利を尊重し、
意思決定を支援します。
2. 私たちは、いつも笑顔で真心こめて
一人ひとりに寄り添います。
3. 私たちは、専門職として豊かな人間性を
育むとともに、知識を深め技術を磨き、
社会の変化に対応できるよう自己研鑽に努めます。
4. 私たちは、多職種と協働し地域連携を深め、
地域包括ケアの要となるよう努めます。
5. 私たちは、地域住民の
健康の維持・更なる増進に向け活動します。

Message

看護師はチーム医療の キーパーソン



院長
関根 信夫

当院では様々な部門横断多職種
チームが積極的に活動しています。
その基本コンセプトは「専門チーム
と病棟看護師の連携」です。チーム
には認定看護師などスキルの高い
ナースが所属して活動をコーディネ
ートし、病棟看護師は患者情報を
チームに伝え、適切な指示・助言を受
けます。当院看護師はまさにチーム
医療のキーパーソンと言えるでしょう。

あなたらしく輝ける キャリアデザインを描けます



看護部長
吉浪 典子

私たちは、疾患や障がいを持つ方が
「どうありたいか」「どう生きたいか」を
尊重し、その人らしさを発揮できること
を大切に看護を実践しています。
当院が目指す看護師像は、相手を
尊重し温かい対応ができる人、チ
ーム医療の一員としてよりよい人間
関係を保ち、相互に啓発し合う姿勢
がある人、看護師としての誇りを持
ち常に学び続ける人です。夢と高
い理想の実現のために共に歩んでい
ける人を求めています。

その先の未来へ、あなたと共に

Interview

自分らしく輝く先輩たち

なりたい看護師像を目指して日々努力を積み重ねるナース。
ワークライフバランスを考えながらキャリア形成を継続するナース。当院には、一人ひとりが自分らしく輝けるキャリアビジョンを描き、イキイキと働く先輩たちがいます。



急性期ナース

最適な看護をめざし
患者さんの記憶に残る看護を

私が勤務する急性期病棟では、手術を受ける患者さんが多く入院されています。さまざまな病状の患者さんがいますが、その方にあつた最適な看護は何かを考え、声掛けや気遣いをするようにしています。スタッフから、病状が落ち着き、回復期病棟へ移った患者さんが「あなたに良くしてもらったと言っていたよ」と伝えられたときは、とても嬉しいですね。これからも、患者さんの記憶に残る看護をしていきたいです。

がん看護専門看護師

がん看護専門看護師として
組織横断的に活動を広げる

血液疾患の患者さんとの関わりがきっかけで、がん看護専門看護師の資格を取得しました。入院支援やがん相談の対応を行いながら、緩和ケアチームにも所属しています。病棟から依頼があれば、医師と共に向かい、薬剤点滴や精神的ケア、意思決定支援などを行っています。がん看護専門看護師として組織横断的な活動ができることにやりがいを感じています。さらに、がんの患者さんを支える新たな取り組みにも挑戦していきたいです。



訪問看護師

利用者さん一人ひとりの暮らしを支える訪問看護

私は4年間内科病棟に勤務したのち、2年前に自ら希望して訪問看護ステーションに異動しました。利用者さんにじっくり時間をかけて寄り添い、その方の望む暮らしを支えることが私のやりがいです。ベテランの先輩が多く、学ぶことや相談しやすい環境のもと、よりよい在宅療養に向けて日々ディスカッションを重ね、支援を考えています。これからも地域医療に貢献できるよう、力をあわせてがんばっていきます。

子育て中でも輝くナース

同僚に支えられながら、やりがいをもって働く

産休・育休を経て、大好きな看護の現場に戻ってきました。出産前と同じ部署なので、馴染みのスタッフも多く働きやすいです。母になったことで視野も広がり看護の奥深さを実感しています。毎日忙しいですが、長期入院の患者さんが退院するときや、患者さんからねぎらいの言葉をいただいたときには、嬉しさがこみ上げてきます。これからも、子育てと家族との時間を大切にしながら、自分らしくがんばります。



安心の地域医療を支えるJCHO

当院が所属する独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）は、全国に57病院・健康管理センター、34訪問看護ステーション、2看護学校などを擁しています。特定行為研修をはじめ、多様な教育体制も充実。理想の看護師像やワークライフバランスにあわせて、キャリア開発を継続することができます。

ワークライフバランス

キャリア開発

多様な教育体制

多彩な看護領域

介護老人保健施設
26施設

地域包括支援センター
13施設

病院・健康管理センター
57施設

居宅介護支援センター
30施設

看護専門学校
2施設

病院からの訪問看護実施施設
11施設

訪問看護ステーション
34施設



看護の技術と心を備えた専門職者を育成

2年間の卒後臨床研修プログラム

新人看護師が不安を感じることなく、またジェネラリストとして質の高い看護サービスを提供する看護師へ成長できるよう、2年間の卒後臨床研修プログラムを用意しています。看護部だけでなく多職種も含めたチームで、知識や技術などを丁寧に指導します。



新人看護師

全員で見守ってくれて、自信をつけながら成長できる

当院は専門領域が幅広く、さまざまな経験を通して、自分の目指すべき方向性や専門性を見つけ、キャリアアップできると考え入職しました。プリセプターがじっくり技術を教えてくれるだけでなく、他の先輩方も実践していない技術があると「一緒にやろう」と声をかけてくれるので、とても学びやすい環境です。振り返りの時間には、できていない点・できている点の両方を伝えてくれるので、次の目標が明確になるとともに自信をつけながら成長できます。

看護師初期研修卒後2年教育の概要(5年一貫教育)

新人看護師卒後臨床研修		卒後1年:若葉ナース	卒後2年:
		ラダーレベルI 到達目標	ラダーレベルII 到達目標
基礎看護教育	3年課程(看護系短期大学・看護師養成所) 4年課程(看護系大学) 高等学校5年一貫教育 准看護師養成所→看護師養成所・看護系短大	組織的役割遂行能力 看護の核となる実践能力 自己教育・研究能力	JCHO及び東京新宿メディカルセンターの理念と使命を理解し、組織の一員としての自覚を持って行動する 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する 自己の課題を指導によって発見し、自主的な活動に取り組むことができる 組織の一員としての役割を理解し、所属部署の目標を意識して行動する 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる

卒前・卒後(2年)一貫教育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
卒後1年	集合教育(必須研修)														
	電子カルテ 感染管理1 安全技術演習 看護必要度	スキンケア 安全管理1 看護倫理1	褥瘡管理1	救急蘇生法 フォローアップ1		セルフケア看護 フォローアップ2	看護研究1 文献検索		フォローアップ3		集合教育 看護概念1 (評価対象)				
	病棟配置			他部署経験と技術習得他部署研修(外科系→内科系、内科系→外科系)									フォローアップ4	フォローアップ5	
卒後2年	若葉ナース														
	集合教育 褥瘡管理2 看護過程初級						集合教育 看護倫理II						ラダーレベルI認定		認定
	他部署経験(選択):緩和ケア病棟、訪問看護ステーション、ICU、救急外来 技術習得他部署研修(必須研修):手術室												ラダーレベルII認定	修了証授与	
ラダーレベルIIへチャレンジ												ラダーレベルII認定		修了証授与	

プリセプターや教育担当者を中心にチーム全体で支えます

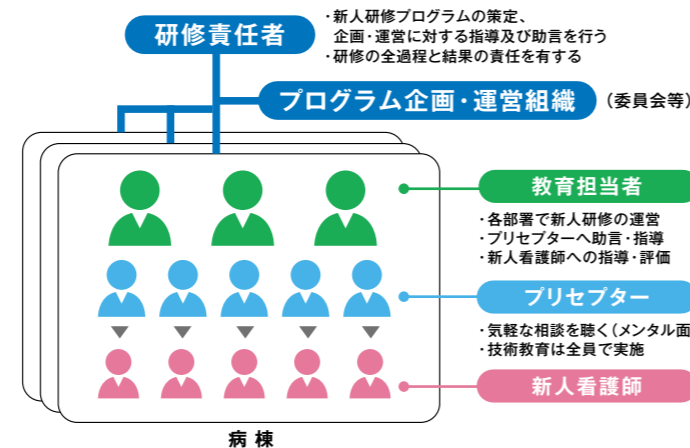
新人ひとりに先輩ひとりがついて指導を行うプリセプター制を採用。新人看護師が不安を感じることがないように、プリセプターや教育担当者を中心にいつでも話しやすい環境をつくり、部署全体で新人をサポートしています。

教育担当者 本音と言える、 安心できる教育環境

新人看護師の精神面や体調面に注目して、一人ひとりと直接話をしながら、不安はないか本音で話せる機会を設けています。新人看護師の心理的安全性を保持し、安心して仕事に取り組めるよう支援しています。



新人看護師のフォローアップ体制



プリセプター 自ら考え 行動できる力を育む

新人も大切なチームの一員です。いつでも相談できる雰囲気をつくり、一緒に考え、実践を重ねながら、主体的に行動できるように指導しています。最初は不安でも、少しずつ自信をつけて、がんばっていきましょう!



成長をきめ細やかにサポート



集合研修

過度な緊張や不安を持たずに安心して現場で働けるように、基本的な知識・技術の講義、演習と新人看護職員同士が考えや思いを表現できるグループワークを行っています。

フォローアップ研修

急変時対応や褥瘡予防の体位変換など、項目ごとに定期的な研修機会を設けています。主に認定看護師が講師となり研修を行います。

附属看護専門学校の演習室を利用して技術研修を行っています





なりたい看護師像へ キャリア開発 をサポート

クリニカルラダーを基盤にキャリア支援

一人ひとりの将来像に合わせたキャリアアップを実現するため、クリニカルラダーをベースにさまざまな研修プログラムを用意。また、特定行為研修を継続教育プログラムに組み込み、多くの看護師がより深い知識・技術を身につけられる環境を整えています。



特定行為看護師

患者さんに寄り添い 信頼される看護を提供する

かつて整形外科病棟に勤務していた際、糖尿病の数値が悪く手術ができない患者さんがいたことをきっかけに、血糖コントロールに係る薬剤投与関連の特定行為研修を受講しました。仕事と研修の両立は大変でしたが、医師と対等に話し合いながら他科の手術目的で入院している患者さんの糖尿病ケアができ、患者さんからも信頼を得られることに大きなやりがいを感じています。当院勤務の医師が講師で、研修後まで一貫してフォローしてくれるので安心です。

エキスパートを育成

スペシャリスト 育成支援制度

働きながらも研修を受講できる環境を整えています。特定行為研修には、受講費の補助もあります。JCHO本部による資格取得支援制度も利用できます。

働きやすさをカタチに

ワークライフバランス WLBを推進

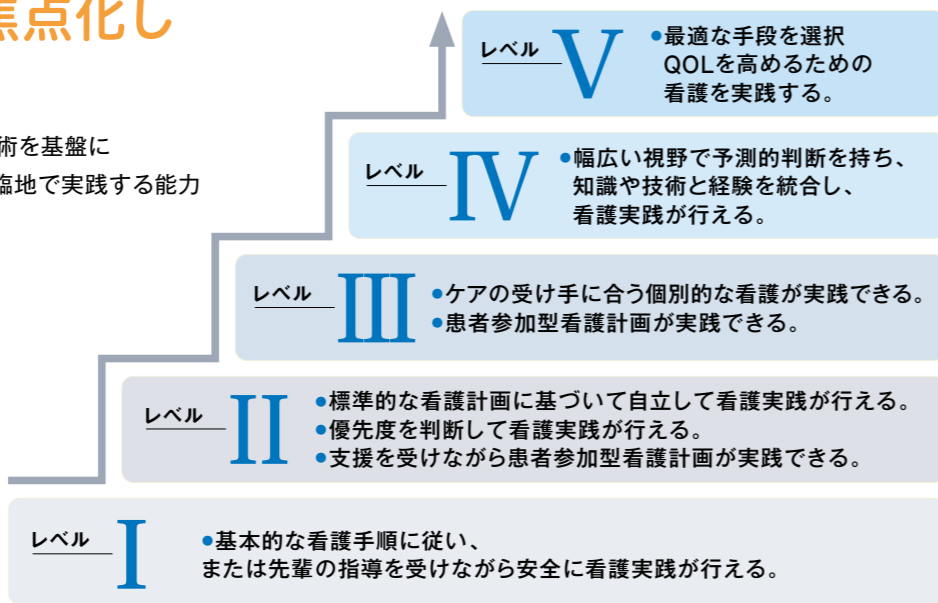
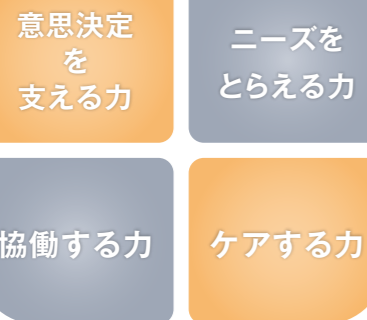
当院の看護師の在院年数は長く、多くの看護師がそれぞれに合ったワークライフバランスを考え実現できています。

産休・育休後の 復職支援

育休中の看護師を対象に交流会&勉強会を実施。スムーズに職場復帰できるよう、細やかに支援しています。

看護実践能力に焦点化し 4つの力で構成

看護師が理論的な思考と正確な看護技術を基盤に
ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力



Specialist | スペシャリスト

専門看護師

2名

慢性疾患看護
がん看護

認定看護師

15名

感染管理／緩和ケア／
糖尿病看護／皮膚・排泄
ケア／訪問看護／集中
ケア／がん化学療法／
手術看護／認知症



特定行為研修修了

28名

2行為3区分の
特定行為研修

院内に教育機関があるから
仕事と両立しながら学ぶことができる

特定行為研修指定教育機関

当院では2行為3区分の特定行為研修を行っています。働きながら学ぶことができるようなカリキュラムになっています。受講スタイルは、当院で講義・演習・実習のすべてを行うプログラムと、講義は放送大学のe-ラーニング、演習・実習はJCHO病院の34施設で実施するプログラムの2つから選択可能。ライフスタイルにあった受講スタイルで研修を受けることができます。

研修修了者に
配布される徽章



◆ 2行為3区分の特定行為研修 ◆

栄養及び
水分管理に係る薬剤投与関連

血糖コントロールに係る
薬剤投与関連





チーム医療を推進 地域医療を支える 自信と誇り

当院は地域の中核病院として良質な医療を提供するとともに、地域住民、地域の医療機関や行政機関と連携し、地域医療を支えています。

「地域が創る病院、病院が創る地域」をミッションに掲げ、病院スタッフ全員で安全・安心に生活できる地域づくりを目指しています。



地域との連携

地域住民と 地域の医療機関を 支える

東京都より地域医療支援病院の承認を受け、地域の医療機関との連携を強化しています。また災害時、地域の他の医療機関を支援する地域拠点病院として、日頃から様々な訓練を行い災害に備えています。地域の皆さんに安全・安心を届けられるよう努めています。

地域医療
支援病院

災害拠点
病院

DMAT

患者サポートセンター

平成30年11月に、地域連携室や在宅療養支援担当、医療福祉相談室、がん相談支援室などを統合。「患者サポートセンター」として看護師も含めた多職種が協働し、患者さんが住み慣れた地域で生活する支援をしています。



広報誌「かわら版」や健康教室、 パネル展示

創刊時から、手作りする病院広報紙「大江戸つくどよろず診療所かわら版」。健康教室や、糖尿病や認知症等を深く掘り下げ分かりやすく解説したパネル展示。患者さんや地域の皆さんへ、正しい医療情報を発信しています。



チーム医療

多職種の連携・団結力でより良い医療に取り組む



感染制御チーム

院内には、多職種が連携する医療チームが活動しています。看護師はチーム医療を推進する役割を担い、さまざまな専門分野を持つ認定看護師・専門看護師、特定行為看護師をリソースとして活用しています。

栄養
サポート
チーム

褥瘡対策
チーム

排尿
自立支援
チーム

緩和ケア
チーム

認知症
ケア
チーム

摂食・嚥下
チーム

糖尿病診療チーム



心に寄り添う緩和ケア

患者さんがその人らしく 生活できるよう、チームで支える

当院では看護師をはじめ多職種で構成される緩和ケアチームが活動しています。患者さんの全人的苦痛が和らぐようお手伝いし、その人らしく生活できるように支えています。



訪問看護ステーション

多職種事業所と連携し 利用者さんの暮らしを支える

「家で過ごしたいけれども不安」という方が、住み慣れた自宅で安心して暮らせるように、医療と地域の橋渡し役となり、利用者さんにじっくり向き合いながら在宅療養を支えています。



Staff Voice

快適な寮生活で 都心の暮らしを楽しむ



都内のおでかけスポットなら、電車で楽に行ける抜群の好立地ですが、寮の周辺は静かで暮らしやすく、遠方に暮らす両親も安心しています。ワンルーム24㎡で広さも十分。好きなアイドルグループのコンサートのため、徒歩で東京ドームシティまで行けるのも嬉しいですね。

病院から徒歩3分

駅から徒歩8分



地域のお祭りに 地域の一員として 参加しています

当院は「神楽坂まつり」の阿波踊りに「JCHO 東京新宿メディカルセンター」連として、約80名のスタッフで参加しています。また、当院北側に位置する八幡神社の「筑土八幡神社大祭」にも参加し、地域とのつながりを大切にしています。



筑土八幡神社大祭